



議会の見える化、始めます！ 有田町議会だより



- ◇ 議長挨拶
- ◇ 「読んでもらう広報へ」
- ◇ 議会の新しい組織構成
- ◇ 議員の横顔
- ◇ 議会審議結果・ピックアップ
- ◇ 常任委員会報告
- ◇ ここが聞きたい！一般質問

P2
P2
P3
P4 ～
P8 ～
P10 ～
P12 ～

- ◇ 議会の様子を見てみませんか？ P19
- ◇ 有田の「若者、よそ者、〇〇者」 P20
- ◇ 議会を傍聴して P20
- ◇ 地域の魅力発見（1区編） P21
- ◇ あなたのご意見お聞かせください P22

★表紙★

世界の音楽シーンを変えたビートルズに倣い、
新人議員の初登庁をイメージした表紙です

令和 8 年 7 月 31 日発行 No.76

新議長に松尾文則氏、副議長に梶原貞則氏を選出

◆ 議長

松尾文則（65歳）
上内野

◆ 略歴

平成15年初当選
（7期）
全国町村議会議長会会長
（令和元年～3年）



◆ 副議長

梶原貞則（69歳）
黒牟田

◆ 略歴

平成15年初当選
（7期）



議長就任あいさつ

4年ぶりに有田町議会議長に就任しました。前は令和元年に第35代全国町村議会議長会会長を拝命し、公職選挙法の改正を行いました。今回の選挙は4人の新人議員が当選されましたが、皆さんが選挙法の改正で選挙費用があまりかからなくて立候補できましたと言ってくれたことが何より嬉しかったです。

議員は町づくりのエンジンであり、素晴らしい人材が集い、町を思い、政策提言していけば町は発展していくものと確信しています。

皆さんが素晴らしい町を創るという気持ちを一つにできるようにサポートするのが私の務めであると思いますので、精一杯努力致して参ります。

町民の皆様には、議員に対しまして叱咤激励いただけましたら幸いです。

読んでもらう広報へ

議会をもっと身近に、もっとわかりやすく。
議会広報発行特別委員会では、皆様に親しまれ、読んでいただける紙面づくりに努めます。

議会広報発行特別委員会

委員長	浦川 和彦
副委員長	岩尾 匡
委員	伊藤 真理
〃	久家いくこ
〃	樋渡 悟
〃	大井手秀樹
〃	久保田 豊



『どうすればもっと伝わるだろう』
そんな思いで、時には真剣に、
時には笑顔で、意見を交わしながら、
議会だよりを編集しています。

有田町議会の新しい組織構成が決定しました

委員会および一部事務組合

総務常任委員会

委員長	原田 一宏
副委員長	久保田 豊
委員	樋渡 悟
〃	池田 榮次
〃	松尾 文則

文教厚生常任委員会

委員長	諸隈 洋介
副委員長	浦川 和彦
委員	伊藤 真理
〃	中島 達郎
〃	今泉藤一郎

産業建設常任委員会

委員長	手塚 英樹
副委員長	岩尾 匡
委員	久家いくこ
〃	大井手秀樹
〃	梶原 貞則

議会運営委員会

委員長	中島 達郎
副委員長	原田 一宏
委員	岩尾 匡
〃	久保田 豊
〃	諸隈 洋介
〃	手塚 英樹

伊万里・有田地区医療福祉組合議会議員

選出議員	松尾 文則
〃	梶原 貞則
〃	原田 一宏
〃	池田 榮次
〃	諸隈 洋介
〃	今泉藤一郎

伊万里・有田地区衛生組合議会議員

選出議員	松尾 文則
〃	梶原 貞則
〃	原田 一宏
〃	諸隈 洋介
〃	手塚 英樹
〃	岩尾 匡

伊万里・有田消防組合議会議員

選出議員	松尾 文則
〃	梶原 貞則
〃	原田 一宏
〃	浦川 和彦
〃	手塚 英樹

議会選出監査委員

中島 達郎

議会用語トリセツ（取扱説明書）

常任委員会って何？

◇ 議会では、町の様々な課題を詳しく審査するため、分野ごとに3つの常任委員会を設けています。本会議に先立ち、専門的な視点で調査・審査を行う役割を担っています。

【総務常任委員会】町の財政や条例、防災・消防など、市政の基盤となる事項を審査します。

【文教厚生常任委員会】福祉、医療、介護、子育て、教育など暮らしに身近な分野を審査します。

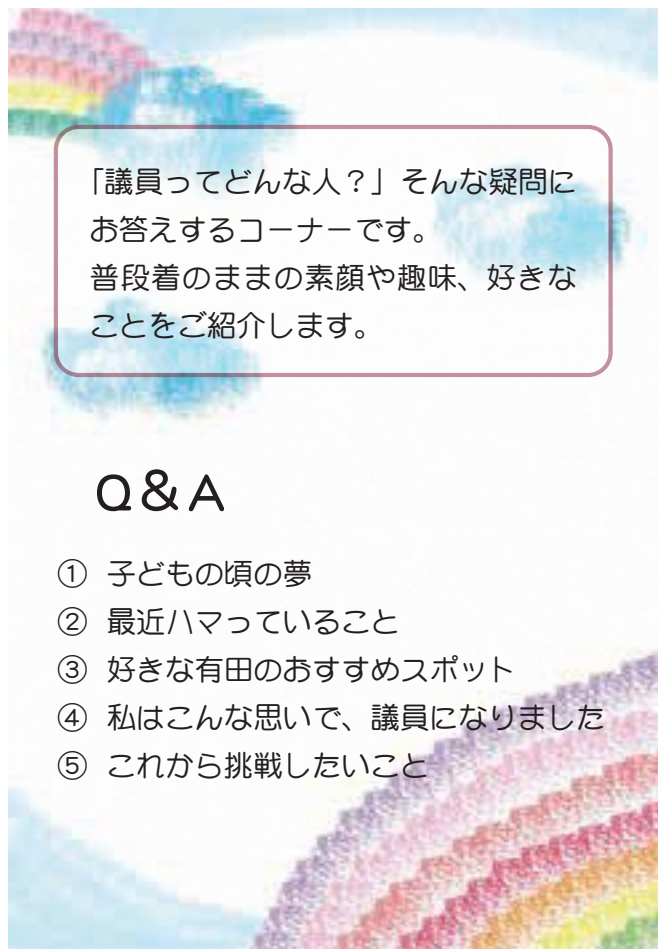
【産業建設常任委員会】農業・商工業・観光の振興や、道路・上下水道など生活基盤の整備を審査します。

※3つの委員会は、それぞれの分野から町民の声を市政に反映できるよう活動しています。



伊藤 真理（1期）中樽

- ① 学生の頃は絶対ならないと思っていましたが、美容師になっていました（笑）
- ② 麴の調味料づくりとゆるグルテンフリー生活。
- ③ 子どもは大はしゃぎ、大人は木陰で涼める最高の場所、竜門ダムです。
- ④ 『暮らしの声』を議会に届けたい。
- ⑤ 町民の皆さんに親しみのある近い存在で、フットワークの軽い議員になること



Q&A

- ① 子どもの頃の夢
- ② 最近ハマっていること
- ③ 好きな有田のおすすめスポット
- ④ 私はこんな思いで、議員になりました
- ⑤ これから挑戦したいこと



『食神様が憑いている』

久家 いくこ（1期）南原

- ① 図書館の「おばちゃん」（図書館司書）そのため図書館が有名な大学に進学。
- ② 食べること（生まれてずっとです）
- ③ 実家の前の天神さん、桜が綺麗です。
- ④ 有田町議会に、16年間女性がいないことを嘆き、私が口火になる！と決心しました。
- ⑤ 2才の姪っ子を懐かせること。



大井手 秀樹（1期）南原

- ① 芸能人になること。
- ② 魚釣りです。特に石鯛釣りやアラ釣りの醍醐味に魅了されています。
- ③ 『焔の博記念堂』の桜並木です。
- ④ 区長や公民館長を歴任し、地域の皆様に支えられてきた。その『恩返し』として、皆様の声を町政へ届けたい。
- ⑤ 九州各地の温泉めぐりと食べ歩き。



樋渡 悟（１期）立部

- ① 料理が上手になって美味しいものを食べたい。
- ② 政治系 youtube。
- ③ 岳の棚田からの展望。
- ④ 有田町の食文化を守りたい。
- ⑤ 有田町で新しい事業開発。



『日本女子ソフトボールリーグ決勝審判
横浜スタジアムにて（家族が応援に）』

浦川 和彦（２期）下本

- ① 甲子園を夢見た高校球児でした。
- ② 二人の娘がソフトボールでお世話になり、恩返しとして審判にハマる。
- ③ 岳の棚田キャンプ場の夜景と雲海。
- ④ スポーツの力で人と地域を元気に。
- ⑤ 町民が集う開かれた議会を目指す。



岩尾 匡（２期）中樽

- ① 「動植物園の園長になろう」と本気で思っていた。
- ② 昭和のレトロなフォーク。メダカの繁殖にもチャレンジ・10匹成功。
- ③ 稗古場の観音山はパワーをいただくスポットです。
- ④ 過疎地になっても、元気で住み続けられる地域にしたい。
- ⑤ 食の改善、ベジメーター（野菜接種指数）Aランクへ！



久保田 豊（２期）本町

- ① 保育士。
- ② 朝の勉強会。
- ③ 泉山磁石場。
- ④ 地域の皆さまの声を町政に届け、子どもたちが安心して暮らせる有田町を次世代へ引き継ぎたいとの思いから。
- ⑤ 広域行政。



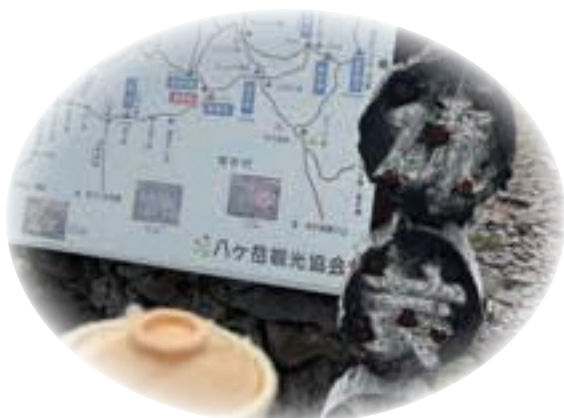
諸隈 洋介（3期）泉山

- ① 小学校の卒業文集には、将来はフォークシンガーで年収1億円と（笑）
- ② Amazon Prime Video のショートムービーを見ること。
- ③ 境野地区にある本川内の田園風景
- ④ 有田をリデザインする仕組みを再構築し、縦と横をつなぐ、風通しの良い町へ導くため。
- ⑤ タップダンス！



中島 達郎（3期）南原

- ① 当時の人気アニメ魔法使いサリーと二次元の世界での結婚を夢見た。
- ② 木々がそよ風になびき葉が重なり合う微かな音に耳を澄ます。
- ③ 国見山や蓮華石山等から鳥の様に俯瞰して見渡す有田の景色。
- ④ まちづくりや人づくり等の役に立ちたい一心で立候補を決意。
- ⑤ ジョギングは健康寿命延伸のため、続けていきたい。



【八ヶ岳 硫黄岳登頂「茶碗もなか」で乾杯！】

手塚 英樹（4期）大樽

- ① 地球を宇宙から見てみたい「地球は青かった」の言葉の実体験
- ② 年に一度の孫たちとの登山。山頂で「茶碗もなか」を食べること。
- ③ 棚田の田植えの後、鏡になった田んぼに空が映り、雲が上下で動く風景
- ④ 賑やかなまちづくり
- ⑤ 年間に年齢の数の登山



原田 一宏（5期）丸尾

- ① 野球選手…巨人・大鵬・卵焼き世代だが、力士より野球選手が格好よかったから。
- ② 早朝ウォーキング&美味探求
- ③ 月並みだが、陶山神社
- ④ 真面目に、地域住民代表の声の代弁者になる思いで。
- ⑤ もう少しのダイエット（昔のスーツが着れるように）と、育毛です。



池田 栄次（6期）山谷切口

- ① ゴマ塩をまぶした白飯を腹一杯喰いたい。戦争が早く終わって欲しい。
- ② 筋トレ（ジム通い）と家庭菜園
- ③ 竜門峡と黒髪山、国見山からの朝日
- ④ 初出馬は71歳目前。友人の再三の勧めに「やってやろう」と決心した。
- ⑤ 91歳だ。「若手議員の足手まとい」にならず、初心を忘れず、93歳だった父を越したい。妻とは、心の中で共白髪の二人三脚でありたいと願っている。



今泉 藤一郎（8期）広瀬山

- ① 親に楽をさせたい。
- ② 所有する山林などの支障木の対策
- ③ 地元、竜門・黒髪山県立自然公園（県内最古、昭和12年に指定）
- ④ 組織活動での話し合いを、井戸端会議で終わらせたくなかった。
- ⑤ 将来子どもたちが、有田町に生まれてよかったと言える『まちづくり』



梶原 貞則（7期）黒牟田

- ① ウルトラマン
- ② ウォーキング・庭いじり・カラオケ
- ③ 有田ダム・竜門ダム
- ④ 明るい心豊かなまちづくりを目指して
- ⑤ 『世界中の芸術系の若者が“ARITA”に憧れて、集まる仕組みづくり』に挑戦します。



松尾 文則（7期）上内野

- ① プロ野球選手が高校の先生
- ② メジャーリーグ観戦（大谷選手の応援）
- ③ 有田赤坂球場
- ④ 1市2町の合併を実現するために。
- ⑤ 活気ある有田町づくり

令和8年6月
議会議案の
審議結果
(一部抜粋)

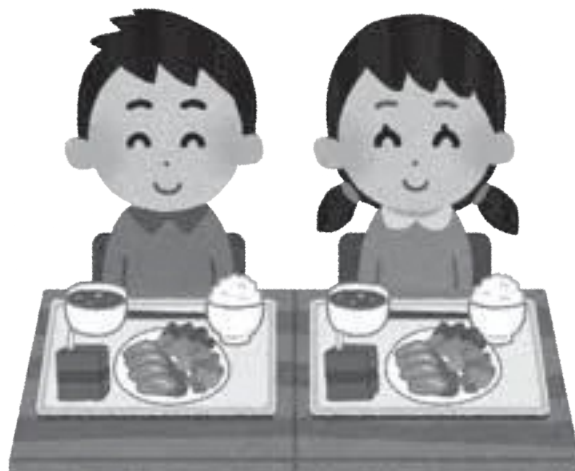
議案番号	提 出 議 案	審議の結果
議案第33号	竜門キャンプ場条例の一部を改正する条例について 竜門キャンプ場施設の新築及び改修等を行ったことから、料金体系を一新するとともに、指定管理者による管理・運営を可能とするために町条例の一部を改正する。	賛成全員
議案第34号	令和7年度（繰越）社会資本整備総合交付金事業町道南原原宿線舗装工事（県道工区）請負契約の締結について 落札者が決定したことに伴い、建設工事請負契約を締結する。 (契約金額5626万円)	賛成全員
議案第35号	令和7年度竜門施設改修事業竜門キャンプ場管理棟新築工事請負契約の変更について 工事の進行により、配管及び電気配線のルート変更並びに当該ルート変更に伴うアスファルト舗装の剥ぎ取り面積の増のため、設計を変更する。 (変更後契約金額7859万円。当初契約金額より148万円増)	賛成全員
議案第36号	令和8年度有田町一般会計補正予算（第1号）について 歳入歳出予算の総額にそれぞれ6億3608万円を増額し、137億5708万円とする。	賛成全員

令和8年度補正予算ピックアップ

◎有田町学校給食費負担軽減補助事業

2970万円

中学校の給食費を令和8年4月にさかのぼって無償化するための補助事業である。小学校の給食費は、国の制度によって4月から無償化されており、中学校の給食費は、町独自の事業によって無償化する。町外の中学校へ進学する子どもには、給食費相当額を補助し、子どもたちの健やかな成長と子育て世帯を支援する。



ピックアップ

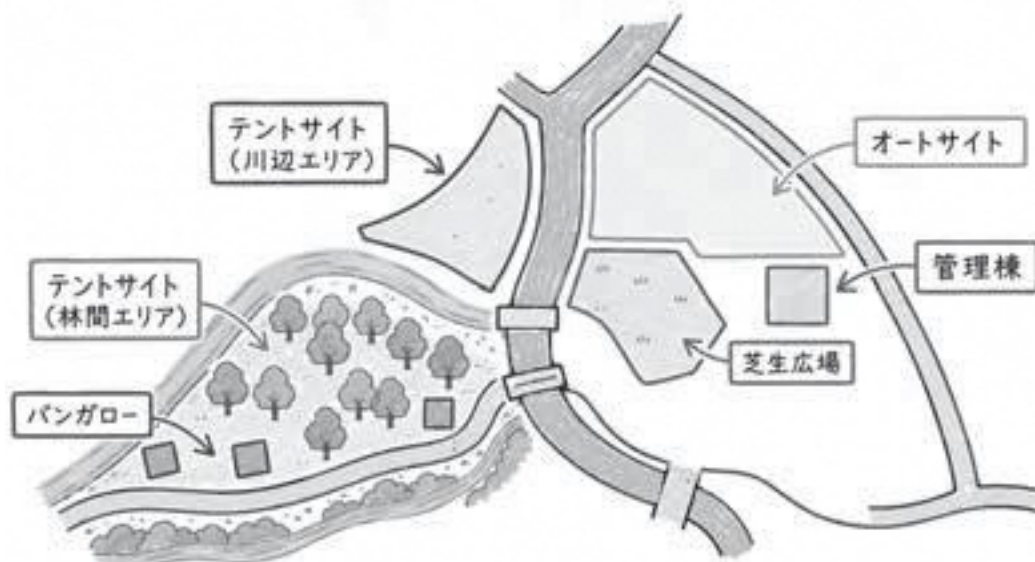
◎竜門キャンプ場条例の一部を改正する条例について

開業から50年が経過しており、施設の老朽化により令和7年度から管理棟を新築し、バンガロー等の改修を進めているところである。料金体系を一新するとともに、指定管理者による管理・運営を可能とするために町条例の一部を改正する。

また、キャンプスタイルの変化や利用者のニーズを考慮し、車両乗り入れも可能な電源ポート付きのオートサイトを新設。テントサイトのエリア拡大等を行っている。



▲管理棟



▲竜門キャンプ場イメージ図

◎令和7年度（繰越）社会資本整備総合交付金事業 町道南原原宿線舗装工事（県道工区）請負契約の締結について

国道35号（南原地区）と県道大木有田線（本町地区）を結ぶ新設道路。大型車両等による交通混雑の緩和や、交通安全の確保を図ること等を目的に整備を行っている。

完成予定は令和9年度を見込んでいる。



▲町道南原原宿線

6月定例議会委員会審議

産業建設 常任委員会

商工、環境、農林、土木建設、上・下水道、農業集落排水、浄化槽、宅地分譲などに関することについて審議します。

(委員会構成議員 5人)

委員長 手塚 英樹
副委員長 岩尾 匡

▼竜門キャンプ場条例の一部を改正する条例

梶原委員 本会議でテントサイトが小さいとの指摘があつたが改善は。

農林課長 オートサイト5区画、テントサイト川辺エリア8・9区画、林間エリア10区画取れる見込み。広くしても元の13区画は確保できる。



▲▼予定地の確認視察

大井手委員 周辺の観光資源を活かすとは。

農林課長 農産物は不定期の出張販売を継続。焼き物は内山地区に誘導する情報発信を行う。

久家委員 どのように情報発信を行うのか。

農林課長 町と観光協会のHPに掲載する。指定管理が入った場合はSNS等で行いたい。

▼令和8年度有田町一般会計補正予算(第1号)
手塚委員 有田町肉用牛



産地強化支援事業について説明を。

農林課長 繁殖牛の導入補助、空き牛舎の利活用補助、IoT機器導入補助(畜舎へのカメラ設置)、牛舎施設等改修補助、有田町産素牛導入補助等である。現在の畜産農家は8業者である。

岩尾委員 未来へつなぐ有田焼支援事業について説明を。

商工観光課長 委託費は、12月開催のテーブルウエアフェスティバルやABCクッキングスタジオ大阪難波支店での産地PR事業等である。補助金は物価高騰に対する支援金、商工会議所が行っている有田焼産業課題解決に向けた取り組み支援、ネクストラッド(窯元)とアリタセラ青年部(商社)の新たな取り組み支援、有田焼創業400年プロジェクト「2016」の10周年記念事業補助

である。

岩尾委員 住宅管理事業について説明を。

建設課長 中樽町営住宅1・2号棟解体工事である。アスベストが含まれているため工事費が高額になる。

梶原委員 解体後の計画は。

建設課長 具体的には決まっていない。売却処分は難しい。地域での活用等を考えたい。



▲中樽町営住宅1・2号棟

文教厚生 常任委員会

民生、保健、医療、福祉、介護、教育に関することについて審議します。

(委員会構成議員 5人)

委員長 諸隈 洋介
副委員長 浦川 和彦

▼令和8年度有田町一般会計補正予算(第1号)

伊藤委員 有田つ子出産

・子育て応援二コツと給付金は人口減少対策や子育て支援にどのような効果があるのか。

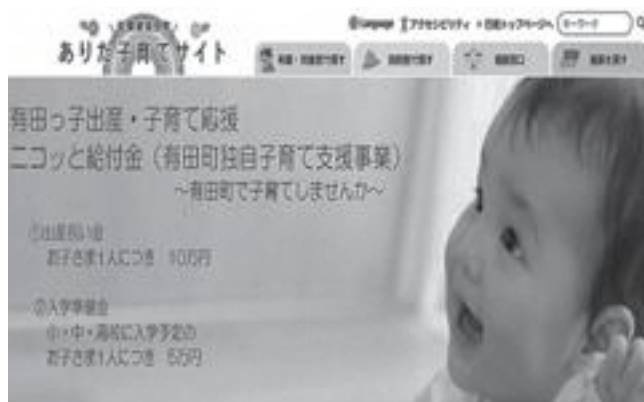
子育て支援課長 人口対

中島委員 今後継続していくのか。

子育て支援課長 今年度は継続するが、今後については町長と協議していく。

中島委員 副町長の考え

策と定住促進を目的とした事業で、成果は数字では表しにくい。令和6年より令和7年の出生数は増えている。



▲有田町ホームページより

生涯学習課長 年間を通して5つの事業を予定している。周知は町ホームページ、チラシ、ポスターなど、様々な媒体でPRに努めている。今年の世界焔の博覧会が開催されて30周年の節目であるため、一人でも多くの方に来場してもらえよう取り組んでいく。



▲町内に設置されている防犯カメラ（一例）

総務課長 昨今の犯罪発生状況を踏まえ、警察からも町内の防犯カメラの設置数が少ないとの指摘と増設の要望が

池田委員 一般家庭への補助の検討は。

総務課長 置補助金とは。原田委員 防犯カメラ設置補助金とは。

総務課長 詳細は今後決めていくことになる。公民館など、区で設置が必要な箇所を検討して申請していただくこととなる。

委員会構成議員 5人
委員長 原田 一宏
副委員長 久保田 豊

原田委員 各区の要望箇所とは。

総務常任委員会

総務に関すること、他の委員会に属しないこと、全般について審議します。

総務課長 まずは区を対象に行つ予定である。

一般家庭への設置補助の要望が多く出てくれば、検討していく。

○歳出 消防費

原田委員 消防団員確保対策事業で、消防団員募集CM作成・放映の予算が計上されているが、各部に対しての団員募集のための補助検討は。

総務課長 団員減少を重く受け止め、検討しているところである。各部でもそれぞれ対策を講じられているが、幹部会と共に検討材料としていきたい。

久保田委員 女性団員の加入状況は。

総務課長 年々増加しており、現在11人で、10年前より4人増えている。

は。

副町長 お金がかかる子育て世代には、二人目、三人目を考える後押しになる良い制度である。今後については町長と検討していく。

今泉委員 NPO等と連携したこどもの居場所づくり支援モデル事業の小学校の預かり機能構築モデル事業の増額の関連は。また内容の説明を。

子育て支援課長 令和7年度にNPO等と連携

したこどもの居場所づくり支援モデル事業を実施した。2年間継続の活用ができず、小学校の預かり機能構築モデル事業を活用して実施する。浄元福祉会が実施する「キッズスペーススルンビー」が他の預かり機能とは違う活動のため、モデル事業として取り組む。財源は全額国庫である。

伊藤委員 世界焔の博覧会30周年記念事業の期待される効果と周知は。

生涯学習課長



なかしま たつろう
中島 達郎 議員

季節毎の植樹による通年観光を

答 観光振興等に期待できると認識している

災害時の高齢者避難

議員 避難所への移動手段として、コミュニティバスやデマンドタクシーの活用を。

まちづくり課長

コミュニティバスは、定時・定路線運行が基本であり、デマンドタクシーも特定地域内の運行を基本としている。これらの運行形態は、それぞれの法律に基づく許可要件や運行事業者との委託契約があり、非常時の特別な対応や運行範囲外での利用は、法的、契約的に困難である。このため高齢者等の交通弱者の避難所への移動手段は、別の仕組みの構築が必要であり、今後関係機関と協議検討する。

町有地への植樹による通年観光効果

議員 春には桜、秋は紅葉と、1年を通して多くの老若男女が訪れるまちづくりを。

商工観光課長

景観形成や観光振興において将来性が期待できるものとして認識している。植樹による新たな観光誘客スポットをつくるのか、従来からある磁石場等での魅力を更に向上させるのか、関係機関と協議する。



▲英山と紅葉

所信表明

議員 町の運営を町の経営と捉えた場合の経営理念と、またこれだけは必ず成し遂げたいと思う町長自身の宝物的な方策は。

町長 限られた資源をもっとも効果的に活用し、住民の満足度を最大化するのが私の経営理念である。

具体的政策の一つ目は、中学校給食費無償化である。二つ目は、奨学金支援制度の構築である。三つ目は、企業誘致に向けた産業用地の整備である。

◇その他の質問
・防災士の組織と活動
・みどりの窓口の再開

唐船城築城

810年事業



いけだ えいじ
池田 栄次 議員

▽事業への町長所見を

議員 2年後に唐船城築城から810年を迎える。松浦党・唐船城が「有田」の地名発祥地であることを町民に周知し、史蹟観光等にも活用できる事業になればと念願している。町長の所見を。



▲松浦党水軍兜

町長 節目の年でもあり、関係部署とも協議して折角の機会を活かす事業としたい。地域のご協力も必要だ。

議員 長崎県松浦市は



▲松浦党水軍発祥の地（案内板）

南部工業団地事業

▽企業誘致に係る政策

議員 町長は選挙公約や所信表明でも、企業誘致については前町長の事業方針を継承すると表明された。南部工業用地でも同様か。

町長 南部工業用地についても前町長の事業方針を継承する。県から新たな副町長を迎えたので、首都圏事務所での豊富な経験と高度な知見を期待している。まちづくり課長 近年は小規模企業の引き合いが多い。「山」で売るのも選択肢の一つで、諸々の課題を県と協議しながら町議会とも連携を深めたい。

企業誘致政策は

前町長の方針を継承するのか

答 前町長の政策を継承し副町長の経験と知見に期待する



もろくま ようすけ 議員 諸隈 洋介

有田ダム旧白川キャンプ場跡地の安全対策と環境整備は

答 大型投資はせず、安全対策と環境整備を行い維持管理する

有田ダム周辺の安全対策と環境整備は

議員 施設整備から40年が経過し、展望施設や橋梁の老朽化、樹木の繁茂など、危険箇所が点在している。防犯・防災や景観改善に向けた環境整備と、黒髪山登山や竜門キャンプ場と連携した今後の観光資源化への見解は。

農林課長 生活環境保全林で整備されたが、現在は散策道の崩れ、倒木など一部危険箇所の存在を認識している。今後、周辺の安全対策を含め環境整備を行う。
町長 旧白川キャンプ場は優れた景観を持つ親しみ深い場所だが、既に一定の役割を終えたため、大型投資は行わず、危険箇所の安全



▲有田ダム展望台の老朽化した橋梁

対策を徹底し、景観も含め維持管理する。

町長の選挙公約と重点政策

議員 厳しい社会情勢の中で「安心・安全で暮らしやすいまちづくり」「子育て・教育環境の充実」「農業・窯業の振興と働く場の確保」「行政改革と財政健全化」の4つの重点政策と優先順位は。
町長 中学校の給食費

無償化を最優先課題として今議会に上程したが、子育て世帯の負担軽減と学びの機会確保を図る観点から、奨学金の返済支援制度についても検討していきたい。老朽化した水道施設の更新や空調の整備、買い物弱者への支援、産業用地整備及び企業誘致の推進、窯業における生地等の共同生産体制の検討、農業における「さが園芸888運動」の推進強化、さらに役場の組織体制の見直しと、DXによる行政効率化まで、町民生活の安心・安全と地域活力の向上につながる施策を見極めながら、すべての政策課題に対し、できることから着実に取り組む所存である。



おおいで ひでき 議員 大井手 秀樹

次世代を担う子どもたちの教育環境整備は

答 中学校給食費を無償化し、子育て世代の負担軽減を推進する

中学校給食費無償化

議員 中学校給食費無償化への決断に至った背景は。

学校教育課長 令和8年度から、国が小学校給食費無償化へ踏み切った動きが背景にある。



▲西有田中学校の給食

議員 一世帯当たりの年間負担軽減額は。
学校教育課長 保護者負担額53000円の軽減となる。

給食食材の「地産地消」の推進

議員 地元利用率は。学校教育課長 町内産18・8%である。

(県内平均11・7%)

議員 質の高い給食を維持する仕組みは。学校教育課長 町から25%の食材費上乘せと米値急騰分を補助している。

議員 「地産地消」の推進への考えは。教育課長 月1回の「有田ふるさと食の日給食」などを活用し、生産者と連携し推進する。



▲町内産 18.8%

今後の教育環境整備

議員 有田つ子出産・子育て応援二ツツと給付金制度とは。

学校教育課長 町の独自施策であり、出産時に10万円、小・中・高入学時に5万円を給付する。



▲5万円給付

議員 今後の町の教育環境整備は。

町長 義務教育の無償化は、全ての子どもが等しく教育を受けられる観点から重視している。今後も財政状況を見極め、子育て世代の負担軽減に向けた施策を推進する。



いとう まり 議員
伊藤 真理

就学前支援と5才児健診は行わないのか

答 相談体制の充実で早期支援に繋げる

就学前支援と5才児健診

議員 個別相談体制の成果と課題、相談に繋がりにくい家庭への支援は。

健康福祉課長 相談窓口が増え、保育士連携で適切な療育相談に繋がりがやすくなった。令和7年度には延べ95件の相談と36回の巡回相談を実施した。保護者の心理的負担や、気づかないケースへのアプローチが課題。保育園等関係機関と連携し、保護者の同意のもと支援している。

保、健診後のフォロー体制が困難なため、現時点での導入予定はない。体制が整えば検討の余地はある。

議員 就学前特性理解支援と保護者が気づく機会は。

健康福祉課長 3才6カ月健診から切れ目のない支援として、子育て支援課の療育相談に繋ぎ、保育園等と連携。園での巡回相談体制や先生方の見守り、連携を重視し、気づきの機会を確保する。

議員 5才児健診導入の考えは。

健康福祉課長 佐賀市などの先進事例は把握しているが、小児科医や心理士等の専門職確



避難所の空調整備

議員 体育センターに空調整備を決定した理由は。

生涯学習課長 年間の利用状況、避難所指定の有無、開設の実績、選挙開票所としての利用等を総合的に勘案。体育センターは利用件数、避難所開設の頻度が高い。

議員 避難所の環境整備と他施設の格差は。

生涯学習課長 夏場の避難者への快適な環境提供は必須。財政面や整備中の利用制限を考慮し、段階的な整備が必要。文化体育館も利用者数が多く指定避難所であるため、今後整備を進める必要がある。



いわお ただし 議員
岩尾 匡

買い物弱者・交通弱者への対策を

答 近隣市町を参考に利便性の向上に努める

町の立地適正化計画

議員 計画の要点と課題は。

建設課長 様々な施設や機能が町全域に分散した状態で人口減少が進行すると、町全体の土地利用密度の低下や空洞化により、必要なサービスや生活環境の悪化が想定される。

これらを一定エリアに集約することで人口密度の維持を図り、生活利便性や地域コミュニティの持続的な確保が必要である。

このため住民の「居住を誘導する区域」と医療・福祉・商業等の集約で効率的なサービス提供が確保されるよう、「都市機能を誘導する区域」を一定エリア

に設定していくことになっている。

議員 人口減少・少子化は不可避な状況であり、立地的に中心部以外区域は将来的に取り残されてしまう不安があると考える。この計画と併行して、特に買い物や移動手段に苦慮する町民の不安を解消する対策を町長に伺いたい。

町長 交通弱者や買い物弱者への対策は公約の一つであり、日常の安心につながる重要な喫緊の課題である。

移動が困難な方への対策としては町の地域公共交通計画に基づいた再編や利便性、使いやすさの向上を図っていく必要がある。

買い物が困難な方への対策としては、移動

販売や宅配サービス、買い物代行などを行ってもらえる事業者を後押しし、拡げていく必要があると考える。近隣市町で実施されている取り組みを参考にしながら、町に適した方法で実施していく。



◇その他の質問
・企業誘致と用地の現況・利活用法は。



久家いくこ 議員

介護職員を支える仕組みづくりを 求める

答 就職支援を継続し人材確保を図る

介護人材確保

議員 高齢化の進展により介護需要の増加が見込まれる中、町内の介護職員数の現状と人材不足への認識、また2030年に向けた介護体制の考えを伺う。



健康福祉課長 町内には約37の介護事業所があり、約840人が従事している。調査では15法人中8法人が人材不足と回答しており、

ヘルパーやケアマネジャーなど専門職不足が課題である。介護職員就職支援補助金については必要性が高く、継続を軸に考えていく。

議員 介護は高齢者だけでなく、その家族の生活も支える重要な社会基盤である。人材確保に加え、現場で働く人を支える仕組みづくりを求める。

中学校給食費無償化

議員 中学校給食費無償化の開始時期と町外の学校へ進学する生徒への対応を伺う。また、無償化だけでなく給食の質や量の維持・向上も重要ではないか。

学校教育課長 予算可決後、令和8年度分

については4月に遡って無償化を実施する。既に納付された給食費は返金し、町外の学校へ進学する生徒には給食費相当額を補助する。また、無償化によって給食の質や量が低下することのないよう、必要な支援を行いながら現状を維持していく。

議員 給食は子どもたちの健全な成長を支える大切な教育の一環である。無償化ありきではなく、栄養価や満足度の向上にも取り組むよう求める。また、給食費無償化の目的や意義について、町長が大衆迎合的な施策ではなく、子育て支援と教育環境の充実を目的とした施策であることを町民へ丁寧に説明するよう求める。



久保田 豊 議員

伝統的建造物群保存地区の火災 対策は

答 延焼防止と初期消火体制の強化を図る

火災延焼対策

議員 町の伝統的建造物群保存地区は、全国的にも貴重な歴史資産であり、観光資源としても大きな価値を持っている。一方で、木造建築が密集していることから、ひとたび火災が発生すれば大規模延焼につながる危険性がある。

1828年の有田大火災では焼失家屋は850軒にのぼった。近年各地で発生した大規模火災を見ても、決して他人事ではなく、本

当に起こりえる問題だと思う。消防車・救急車が入る道の整備は。文化財課長 消防車の侵入路となる道路の整備について、初期消火



▲内山地区風景

議員 町の一番のリスクは伝統的建造物群の火災と考えるが、町長の考えは。

町長 伝統的建造物群保存地区は町の宝であり、観光資源である。

や延焼防止は喫緊の課題で、単純に道路を拡幅するだけでは伝統的な町並みや歴史的景観を損なう恐れがある。そのため景観の保全と地域の歴史・文化の継承を図りながら、防災対策の強化を進めることが重要と考える。

現在、町の伝統的建造物の保存を国や県の補助を受け整備している。今後町だけで守っていくのは難しいため、力を貸していただけるよう国等に働きかけていきたい。

- ◇その他の質問
- ・ 中学校給食費無償化について
 - ・ 防災トイレの活用について
 - ・ 古木場ダム周辺トイレの整備について
 - ・ 磁石場トイレの整備について
 - ・ 古いトイレの改修計画について



浦川 和彦 議員

買い物支援に、陣頭指揮を執る
覚悟はあるか

答 率先して実行していきたい

買い物弱者対策

議員 社会福祉協議会が実施している「まごの手事業」の買い物代行支援や、近隣スーパー等による移動販売もある。町全体をカバーできているか。

健康福祉課長 町全体をカバーするような仕組みにはなっていない。
議員 山内町の買い物送迎支援や、移動スーパーなどを調査した。移動販売は需要がある一方、人材確保や採算性、継続性に大きな課題があるがどう認識しているか。
健康福祉課長 最低採算金額の保証や、維持に対する公的支援は財政的視点からも厳しいと考える。

議員 生協が実施する「お買い物無料送迎」は、自宅からお店まで送迎し、利用者が店舗で自由に買い物ができ、心身の介護予防にも直結して大変好評である。事業としても採算が取れ成果を上げている。利用者の確保が課題であり、利用しやすい環境を作るところまで支援するという視点が重要だが、その考えは。

町長 買い物弱者対策は公約の一つであり、民間と連携しながら送迎支援も研究・検討したい。
議員 健康福祉課だけでなく、連携した横断的な取り組みが必要ではないか。



▲お買い物無料送迎車

町長 総合的な取り組みが不可欠であり、連携体制を強化し、町全体として取り組む。

議員 買い物支援は「安心して住み続けられる町づくり」につながる重要な生活インフラである。町長が先頭に立ち、実現に向けて陣頭指揮を執る覚悟はあるか。

町長 町民に満足していただけるよう、率先して実行したい。

町長重点政策

▽生活道路の安全対策
議員 外尾山交差点の安全対策をどのように考えているか。

建設課長 県に対して優先順位が高い要望として、交差点改良を要望している。別途、安全対策についても関係機関と考えていきたい。



▲安全対策が求められる外尾山交差点



原田 一宏 議員

外尾山交差点の安全対策は

答 関係機関と考えていきたい

議員 下水道整備や水道管布設後の道路の凹凸対策は。

上下水道課長 布設後に仮舗装を行い、一定期間の養生期間を設けて、本舗装を行う。

▽消防団への支援強化

議員 団員確保や地域防災力向上維持に向けた取り組みは。

町長 団員の定年廃止が協議されているが、消防本部と協議していく。また、町職員の加入促進も図っている。地域防災力の維持向上のため、早急な検討が必要と考える。

▽産業後継者育成支援

議員 型・生地の共同生産拠点整備とは。

商工観光課長 将来を見据えた生産基盤の強

化の一つで、個々の事業者が抱える設備投資の負担軽減や生産性の向上、コスト削減など、技術継承や後継者育成に繋がっていくような拠点整備事業である。今後、産業関係者や関係機関と意見交換・仕組みづくりの協議を進めていきたい。

議員 行政としての近隣産地との連携は。

商工観光課長 近隣産地とは、お互いの強みや特徴を活かし、情報共有や研修事業など産地の垣根を超えた協力体制も必要になってくると考えている。

議員 国内販売の支援は。

商工観光課長 「未来へつなぐ有田焼支援事業」を広く周知し、積極的に活用してほしい。



てつか ひでき 議員
手塚 英樹

老朽化倒木の対策は

答 公園、道路で異状に気付いたら通報の協力をお願いしたい

桜・大木の倒木

議員 全国的に桜や大木の倒木事故が増加している。町の現状と危険木の把握は。

建設課長 定期的な調査、点検は行っていない。台風・大雨の後、道路パトロール、住民の方からの通報で倒木の撤去、伐採を行っている。

議員 老朽化した樹木の伐採基準と対策は。

建設課長 町では明確な伐採判断基準はない。

一般的に桜の木の寿命は60年〜80年で、木の幹にキノコ、枝が枯れ落ちている等が老木の危険基準といわれている。公園、道路で異状に気付いたら通報の協力をお願いしたい。

無電柱化事業

議員 電柱撤去、街路灯設置の予定は。

建設課長 この事業は平成26年から県の街路事業で取り組まれている。管路埋設が約350m完了。残り270m区間の整備を行い、地上機器の設置、電線の地中化、電柱の撤去となる。まだ完了の時期は明示できない。電柱共架の防犯灯、商店街街路灯は県で機能復旧を行う予定。

議員 無電柱化事業は岩谷川内眼鏡橋から泉山まで1600mである。札の辻から下の区間の事業は。

建設課長 札の辻交差点から下も家屋が連なっている。住民の方の

協力が必要となる。

町長 無電柱化事業は工事で不便もかける。沿線住民・町民の協力と理解をいただき、進めていきたい。



▲電柱撤去を待つ内山

新規道路建設

議員 地元の長年の願いである白川から丸尾を繋ぐ道路建設計画は。

建設課長 構造的な安全確保、コストの課題、環境への課題がある。費用対効果を考えても難しい。

教育の機会均等の厳守



いまいすみ とういちろう 議員
今泉 藤一郎

議員 4本柱として教育・経済・生活・保護者への就労とあり、それぞれの支援と生活保護の現状は。

学校教育課長 令和7年度実績で、要保護3世帯6人。準要保護63世帯98人。特別支援教育就学奨励費87人。健康福祉課長 生活保護の申請件数は18件で、受給者は83世帯 103人である。

議員 不登校の改善など、関係者等が更にしっかりと連携して取り組むべきではないか。

教育長 連続で30日以上欠席者が35人。登校できる児童・生徒には養護教諭、教育相談員、ソーシャルワーカー

医療・介護保険制度への取り組み

答 安全・安心に向け対応していく

介護支援は大丈夫か

議員 誰一人置き去りにしない施策の実現に向け、努力を願う。

医療負担増が心配

議員 一般医薬品で代替え可能とされるOTC類似薬品の説明と患者負担は。

健康福祉課長 市販薬と有効成分や効能がほぼ同じでありながら、医療機関で医師の処方により提供される医薬品である。来年3月から、通常の1/3割の自己負担に加え、薬剤費の25%が追加負担となる予定。

議員 困りごとができる限り生じない施策が必要と考える。

町長 厳しい状況になつてくるが、高齢者の方々まで安全安心に暮らせるように町として対応していきたい。



かじ はら さいだ のり
梶原 貞則 議員

増加する空き家の利活用策は

答 いろんな施策を検討していきたい

増加する空き家の利活用策は

議員 現在の空き家対策は。

まちづくり課長 空き物件インフォメーションに登録された物件を、町のホームページに掲載し、情報発信を行っている。また物件の提供者に10万円、購入者に20万円の補助、改修工事費に上限50万円の補助を行っている。

議員 白石町では親世代と新たに同居を始めるための改築補助金制度がある。町でもこういう施策を講じてはどうか。

奨学金返済支援制度の創設を

議員 当町には、人材育成のために、4つの奨学金制度があり、利活用されている。波佐見町では、町内に就職された人に対しての奨学金の一部返済免除の制度がある。当町でも人口減対策のために取り入れてはどうか。

町長 返済支援制度の早期の創設を考えていきたい。

子育て世代の経済的負担軽減を

議員 今年4月から、小学校の給食費無償化が実現した。また、町長の公約である中学校の給食費無償化が今議会に上程され、実現の

予定である。

幼児保育及び教育についての現在の施策、また、今後の施策は。

子育て支援課長 現在3才以上の保育料は無料である。また、0才から2才児の保育料は、子育て支援の観点から国の指針よりかなり低額に設定してある。給食費は、県の補助事業があるが、町としての補助も検討していきたい。



▲増え続ける空き家

食料安全保障と農業振興

議員 食料安全保障をどう認識しているか。

農林課長 国際情勢の不安定化・農業資材の高騰により食料安定供給への不安が高まっている。①国内農業生産の増大、②安定的な輸入、③備蓄の確保の3本柱を意識しながら、地域農業のあり方を町民と議論していく。

出庫の農産物産出額の試算

品名	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
米	トン	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
小麦	トン	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500
大豆	トン	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
雑穀	トン	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
野菜	トン	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
果物	トン	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
畜産物	トン	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400
水産物	トン	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
合計	トン	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350



ひわたし きとる
樋渡 悟 議員

食料安全保障と農業振興の対策は

答 食料安全保障の課題は、国・県とも連携して取り組んでいく

議員 町内農業の現状と学校給食への供給可能性は。

農林課長 町の農家戸数が682戸から427戸へ37・4%減少した。農業従事者の約70%が65歳以上を占める。安定供給、価格安定の面で学校給食への供給可能性は低い。

議員 町独自の農業振興策・食料安全保障予算の検討を。

農林課長 農山村活性化推進基金・ふるさと応援基金を活用した独自事業を展開しているが、食料安全保障の課題は、国・県とも一体となつて取り組むべきと認識している。

町長 県が進める「さが園芸888運動」により、新規就農者・スマート農業導入を後押

しする。農業者に寄り添った対応を図っていく。

統合中学校建設

議員 建設費だけでなく将来の維持管理費など、設計段階からチェックする仕組みの必要性は。

学校教育課長 CM方式の採用自体が透明性確保・過大投資防止の手段として有効。業者選定はプロポーザル方式を予定しており、住民への説明は広報等で丁寧に周知していく。

議員 子どもたちの未来に関わる大切な事業だからこそ、今後も議会と町民に丁寧な説明を求める。

議会の様子を見てみませんか？

有田町議会
HPはこちら



有田町議会
YouTubeはこちら



二次元コードってなに？

むずかしくありません。かんたんに使えますよ。



二次元コードとは…

四角の中に情報が入っている「しるし」のようなものです。スマホのカメラで読み取ると、ホームページや動画などを見ることができます。



カメラで
読み取る
だけ！

…………… 使い方はとてもかんたん！ 4つのステップ ……………

① スマホの カメラを開きます



ホーム画面の「カメラ」のアイコンをタップします。

② カメラを二次元コードに 向けます



二次元コード全体が画面にうつるようにします。

③ 画面に出てきた文字を タップします



画面の上や下に出てくる文字（リンク）をタップします。
※機種によって表示がちがいます。

④ ページがひらきます



ホームページや動画などの内容を見ることができます。

二次元コードでできること（例）



お店や施設の
ホームページを見る



動画を見る



地図や場所を
調べる



クーポンやお得な
情報を見る

まちがえても大丈夫！

わからなくなったら、そのまま画面を閉じたり、戻るボタンを押せばもとに戻れます。あせらず、ゆっくり試してみてくださいね。



ワンポイントアドバイス

明るい場所で、二次元コードに近づきすぎず、ゆっくり動かすとうまく読み取れます。

有田の「若者・よそ者・〇〇者」



やなせ さん
柳瀬 燦大さん

有田工業高校
セラミック科3年

柳瀬 燦大さん
(大分県日田市出身)

有田の若者や移住者、そして「〇〇者」と呼ばれるような個性あふれる方を紹介するコーナーです。第1回は、地域みらい留学生として有田工業高校で学ぶ学生を紹介します。

せてできました。また先日
日のバスケットボールの
高校総体では佐賀東に負
けてしまいましたが、こ
れまでの中で一番いい内
容の試合ができたので悔
いはありません。

得意教科は英語。NB
Aの実況などを聞いてい
ます。将来は海外にも行
ってみたいですね。ろく
ろも好きです。逆に絵付
けは苦手。小鹿田焼には
有田焼のような絵付けが
ないので細く線を描くこ
とが難しいです。

将来は実家を継ぎ、次
世代に繋げたい。高校卒
業後父たちの下で修業す
るか、父の知り合いの沖
縄の窯元で修行するかを

迷っています。小鹿田焼
をもっとたくさんの方に
知ってもらいたいのので、
父のように技術だけでは
なく人脈も広げていきた
いです。

有田では技術面でもす
が、人間性、社会性を学
ぶことができました。感
謝しています。いつか地
元の友達や家族と陶器市
に来たいと思っています。

町議会は若者が有田で
学び、成長し、未来へ羽
ばたく、そんな姿を応援
します。柳瀬さんには陶
器市に出店しに戻って来
てほしいですね。

議会を 傍聴して

議会はどなたも傍聴することができます。予約もいりませんのでお気軽にお越しくださいね。
そこで6月議会を傍聴された方に感想をお聞きしました。
皆様の傍聴もお待ちしています。

議場に入ってみて、まず、傍聴者が議員さんと同じフロアであり、親近感を持ちました。住民の代弁者として、存在しておられると実感しました。

対する町側は、緊張されているように感じました。静かな中にも町民の不安に対する町の取り組みを説明されていました。

近くの議員さんとみんなが仲良くなり、要望を伝えれば生活全般において、もっと良くなるような気がしました。

(50代女性)

16年ぶりに女性議員が2人誕生したことを機に、応援の気持ちを込めて議会を傍聴しました。

介護を担う方々への支援や介護職の働き方の見直しについての質問は、地域を支える人たちに目を向けた大切な内容だと感じました。初めての一般質問とは思えないほど落ち着いた姿勢で、説明も分かりやすく、とても頼もしい印象を受けました。今後この課題に継続して取り組み、女性ならではの視点を活かした政策提案に期待しています。

(70代女性)

地域の魅力発見：そこで暮らす人びと！

1 区編

1区は他の区と異なり、“泉山地区だけの単独区”になります。

人口減の問題がありながらも、区民の意思疎通が図りやすく、まとまりやすい地区です。泉山の“人びと”では今回、筒井孝司さんと、ご子息の笹井宏之(本名:筒井宏之)さんを、“区民の想い”では興味深い「泉山の歌」を紹介したいと思います。

- 筒井孝司さんは「有田の音づくり」を行っています。食器に使われていた大小様々な茶碗を集めて楽器として使う“碗琴”の奏者として活動されています。元々は和久陶平さんが始められたものを譲り受けたもの。磁器特有の澄んだ音色で、有田磁器太鼓・有田焼オカリナ・横笛とともに“有田磁器の音コンサート”など、この24年で約650回の演奏会を開催され、巧まない自然な音が多くの人に親しまれています。碗琴を通じて“有田の音”の探求をライフワークとされています。



▲筒井孝司さん：福岡三越にて演奏



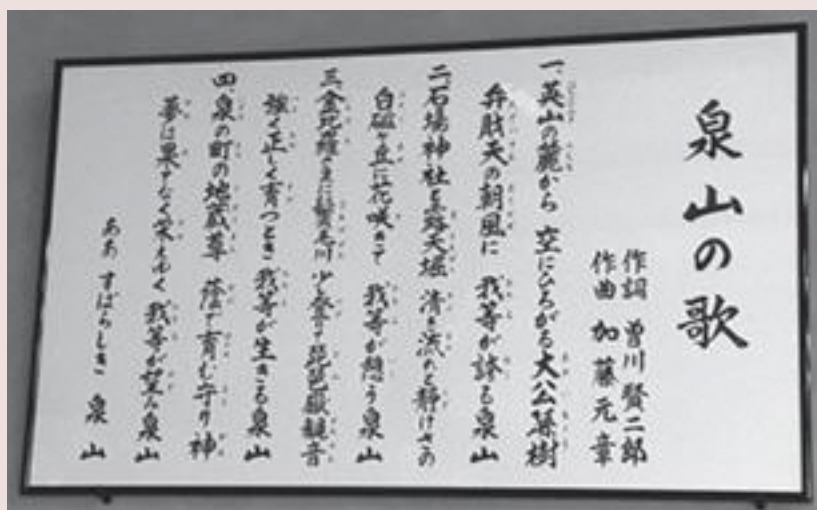
▲笹井宏之さん

- 笹井宏之さんは、泉山出身の歌人です。心身の不調で療養生活の中、音楽や文学・自然を愛し、病床から携帯電話で日常のありふれた光景を最も優しく美しい言葉で短歌作品を残されました。2009年に26歳で逝去されましたが、現在も父、筒井孝司さんによりブログ“些細”が更新されています。

URL <http://sasai.blog27.fc.com/>

また、町内小中学校ほか、伊万里市民図書館などで笹井宏之さんのコーナーが設置されています。

- 泉山の歌は、昭和61年の歌詞募集で曾川賢二郎さんの作品が選ばれ、当時有田中学校の教諭であった加藤元章さんが作曲されたもので、令和3年からは区民の高齢者方が月例会などで誇らしく歌い続けられています。



あなたのご意見お聞かせください

議会広報発行特別委員は新しいメンバーとなり、みなさまに読んでもらう議会だよりを目指して知恵を絞り、話し合いを重ねました。その中で、議会だよりに対する町民のみなさまの声を聞かせていただきたいとの意見があり、アンケートを実施することとなりました。

今後の議会だよりづくりに活かしていきたいと思いますので、アンケートへのご協力をお願いいたします。

- ①議会だよりはいかがでしたか。
- ②どのページに興味を持ちましたか。
- ③今後、取り上げてもらいたい話題は。

右の二次元コードを読み取り、フォームへのご回答をお願いいたします。

アンケートはこちら



有田町議会
HPはこちら



有田町議会
YouTubeはこちら



■議長交際費支出状況（令和8年4月～6月）

項目	件数	支出額(円)	備 考
会費	4	42,500	行政懇談会費ほか 3 件
雑費	1	3,800	西有田商工振興会青年部通常総会酒代
合計	5	46,300	



あとがき

「議会だより」と聞くと、少し堅苦しい印象があるかもしれません。そんなイメージを変えたいという思いで、議会広報発行特別委員会は新しい一歩を踏み出しました。全部読まなくてもいい。写真や見出しを見て、気になるページをめくってみる。そこから議会を少し身近に感じてもらえたら、それだけで十分です。この議会だよりは、私たちが完成させるのではなく、みなさんの声とともに育っていくものだと思っています。

「こんなことを知りたい」、「こんな特集を読みたい」、そんな声をいただきながら、町民のみなさんと一緒につくる議会だよりを目指していきます。

伊藤真理

議会広報発行特別委員

委員長 浦川 和彦
副委員長 岩尾 匡
委員 伊藤 真理
委員 久家 いくこ
委員 樋渡 悟
委員 大井 秀樹
委員 久保田 豊